

科目名	危機管理論特講	担当者	川中 敬一 <small>カワナカ ケイチ</small>	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	----------------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>日本と外部世界との相互関係の緊密化に伴い、我々が危機事態に直面する可能性も増大しています。それゆえ、危機事態に対する適切な処理の重要度も増していると言えます。</p> <p>本講は、中国と米国の関係を事例とし、人為的危機に備え、処置する基本的知識と思考方法を習得する機会を提供します。その過程で、まず米国と中国の行動に大きな影響を与えた戦略思想を学ぶこととなります。同時に、米中近代史を包括的に学びます。この両者を融合することによって、東アジア世界の全体像を把握する基盤を築いてください。そして、異なる価値観を有する対象を等身大に捉え、これらに対応できる時流に流されない柔軟性を修得してください。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. マハンの海権思想、毛沢東思想・孫子兵法の要諦を理解してください。</li> <li>2. 歴史的な米国の東アジア戦略の変遷を理解してください。</li> <li>3. 近代中国革命の理念と現実の中国の行動の理解してください。</li> <li>4. 以上を勘案して、東アジアの包括的な戦略的構造を思索してください。</li> </ol>		
学修方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本教材は、各レポート課題に収斂するよう熟読してください。</li> <li>2. 1. の理解を補完するため、参考図書を積極的に利用してください。</li> <li>3. 疑問や困難に直面した際には、担当教員へ直ちに質疑してください。回答ないし関連資料を適宜に提示します。</li> <li>4. 歴史の変遷と一貫性の全体像を早期に把握してください。</li> <li>5. 現今生起している危機的事象の淵源を思考してください。その際、米国人や中国人の思考・行動形態を重視してください。</li> <li>6. 上記客観的戦略構造の中で、日本（自己）はいかなる方向で対処すべきかを勘案してください。</li> <li>7. 基本教材2のレポート課題2を念頭に各レポート課題に取り組まれることを推奨します。</li> </ol>		
スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本教材1のレポート最終草稿は8月20日、基本教材2のレポート最終稿は12月1日までに提出してください。</li> <li>2. 夏学期間に面接授業を実施する予定です。</li> <li>3. レポートの草稿提出以前にも、適宜、受講者と担当教員との質疑交換をしましょう。</li> </ol>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	レポートの客観性・論理性・独創性を重視します。世間の言説に惑わされず、各位の知性と感性を総動員して執筆してください。
	平常評価	20%	レポート草稿（素案を含む）提出までに、いかに取り組んだかを評価対象とします。
履修者への要望	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本教材の熟読開始と同時に、とにかく、レポートを書き始めてください。</li> <li>2. 受講者各位が、本講受講によって、偏向した見解や流布されている言説に惑わされない、己の「物差し」を構築されんことを期待します。</li> <li>3. 人為的行為においては、国家と国家の生存（軍事と治安）担保がいかに重要な機能を果たしているかを思考し、感得されんことを期待します。</li> </ol>		

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 村井友秀 編著 教材名： 『戦略論大系（7）毛沢東』（芙蓉書房出版，2004年） ISBN:978-4-82-950308-9 3,800円+税
	本書は、今日でも依然として中国共産党（中共）の理論原則，行動基準の1つである毛沢東思想を適切な邦訳と補足説明を加えているので，隅々まで熟読してください。
	著者名： 浅野裕一 著 教材名： 『孫子』（講談社，1997年）ISBN:978-4-06-159283-4 1,050円+税
	「孫子兵法」は，毛沢東思想の重要な基盤ともなっています。本書は，中国人が問題解決に際して，しばしば依拠する孫子兵法を平易かつ正確に邦訳しています。
	著者名： 入江昭 著 教材名： 『米中関係のイメージ』（平凡社，2002年）ISBN:978-4-58-276448-2 1,100円+税
	本書では，米中双方が相手をどのように見て，対応してきたかを両者の政治的及び文化的側面から解説しています。東アジアにおける両超大国の深層心理を本書で知ってください。
参考図書	●中嶋嶺雄著『中国』（中央公論社，1982年）ISBN:978-4-12-100652-3 720円+税 ●横山宏章著『中華民国』（中央公論社，1997年）ISBN:978-4-12-101394-1 820円+税 ・海洋政策研究財団編『中国の海洋進出』（成山堂書店，2013年）ISBN:978-4-425-53151-6 2,400円+税 ・西村繁樹編著『「戦略」の強化書』（芙蓉書房出版，2009年）ISBN:978-4-82-950446-8 3,500円+税 ・丸川哲史著『魯迅と毛沢東』（以文社，2010年）ISBN:978-4-75-310278-5 2,800円+税
履修上のポイント	前期は，参考図書が多く，非常に苦労が多いと思います。しかし，米中を基軸とする客観的な東アジアの戦略構造の全体像を理解するには必須の努力です。細部に拘泥せずに，全体的像の把握に心掛けてください。その際，台湾の意義を常に勘案して取り組んでください。
レポート課題 1	中国共産党と中国国民党の建国理念と，両者にとっての軍事力の機能は何かを論述せよ。（4,000字以内） 留意点： 大陸中国と台湾との相違点と共通点に留意してください。
レポート課題 2	日本の危機管理に毛沢東思想を参考とできる教義を3つ挙げ，具体的な援用方法を論述せよ。（4,000～6,000字） 留意点： 毛沢東思想形成に大きく影響を与えた孫子兵法も考慮してください。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 麻田貞雄 編・訳 教材名： 『マハン海上権力論集』（講談社，2010年）ISBN:978-4-06-292027-8 920円+税
	本書からは，マハンの世界認識，国益追求方法，海軍力の意義が理解でき，同時に，今日にも通ずる米国の世界軍事戦略やアジア政策の萌芽を読み取ることができます。
	著者名： 浅川公紀 著 教材名： 『戦後米国の国際関係』（武蔵野大学出版会，2010年）ISBN:978-4-903281-18-6 3,300円+税
	本書では，戦後の米国安全保障政策が平易に解説され，アジア政策の流れが理解できます。
参考図書	アーネスト・メイ著『歴史の教訓』（岩波書店，2004年）ISBN:978-4-00-600120-9 1,300円+税 佐々木卓也 編著『ハンドブック アメリカ外交史』（ミネルヴァ書房，2011年） ISBN:978-4-623-05480-0 3,800円+税 畠山圭一編著『中国とアメリカと国際安全保障』（晃洋書房，2010年）ISBN:978-4-7710-2144-0 3,200円+税
履修上のポイント	日本人が意外と疎い米国の通史（特に戦後史）を理解してください。そのうえで，基本教材1で蓄積した中国に関する知見を重ね合わせて，米中関係を基軸とする東アジアの戦略的構造の全体像を構築してください。その結果をもって，日本の立脚点と意義とを考察してください。
レポート課題 1	米国のアジア戦略の変遷の概要と普遍的目標は何かを論述せよ。（4,000字以内） 留意点： ここでの現代とは，第2次政界大戦終結から今日までを対象とします。
レポート課題 2	今日の日本の対外的危機対応における改善点を具体的に論述せよ。（6,000字以内） 留意点： 米中の思想や歴史を参考に，日本の危機対応における本質的問題点を考えてください。